

後援会 会報

第10期

2018.1
里山学院後援会

ご挨拶

後援会会長 森下眞治

後援会の皆様、お元気でお過ごしのことと思います。本会は今年で十年を迎えることになりました。長年、本会を支えてくださった会員の方々、本当にありがとうございます。この十年の間に後援会は、公用車の軽自動車、遊具のウレタンマット、緊急時の AED、そして、日々の食事の安全管理に役立つ業務用冷蔵庫を寄贈することができました。いずれも子どもの笑顔と学院の発展に役立つ事業でありました。

十周年の節目に考えますことは、会員が増えること、そして、会員が里山祭に参加して子ども達の笑顔を見ていただくこと、さらに里山参観日があって、会員の目で子どもを見て体で感じて欲しいと思っております。



後援会幹事 村主堯春

以前から格差社会拡大については問題視されていますが、子どもたちにもその影響は影を落としているようです。社会の隅に追いやられた子ども達に救いの手を差し伸べるひとつが里山学院だと思います。学院の先生方には目の前の子ども達と接する中、十年後、二十年後の子ども達の姿に思いを巡らせてほしい。きっと楽しくなると思う。そんな里山学院を私は応援したいです。後援会の皆さんがそれぞれの想いとそれぞれの立場で里山学院とのご縁を持ち続けていくことは有難いことです。「後援会員といっても何もできへんに」とのお声も聞きますが、後援会員でいていただけることがすべての始まり。「焦らずボチボチいきましょう。」

里山学院 理事長 安東長

社会構造の変化は私たちの活動に深くかわりのある家族や家庭の構造にも様々な変化をもたらしました。それは当然子ども達の置かれている位置や環境も今まで考えていた物とは違った新しい形態を生み出すことにつながります。そしてより複雑で困難な問題が顔を出してきています。こうした問題を処理し更に活動を続けていくには従来の古い価値感にとらわれない新しい視野を手に入れることが求められます。そして今まで以上の深い思索が必要となるでしょう。私たちは今提示されている、或いは提示されつつある諸課題に対しひるむことなく立ち向かう力を養い、これからのあるべき真の姿を構築して行こうと日々研鑽を重ねています。今後とも暖かく見守り、御助言、御助力をよろしくお願い致します。

里山学院 統括施設長 鍵山雅夫

後援会を立ち上げようと思ったのが、鈴鹿市に分院を建てる際の支援者を募るのが目的でした。今日までの活動を通して、2つの成果がありました。1つ目は、施設の広報啓発です。里山学院を広く多くの方々に知っていただくことができました。2つ目は、資金面です。会費や寄付が多く寄せられ、施設の備品購入に充てることで、その分を子ども達の活動費にまわすことができました。しかし、子ども達が施設を出て社会で、家庭で暮らすようになった時に、施設で暮らしていたことを隠さざるを得ない実態がまだあります。そこで、会員の皆様には施設のこともっと多くの方々に知っていただけるよう、会員の拡充や施設啓発等をお願いしたいと思っております。

乳児院



乳児院には、多くの乳幼児が出入りをしています。入退所の際、時間をかけて児童相談所や市町、そして保護者の方々と、その子の状況を確認するお話をさせていただいています。また、入所した日は、その子をしっかりと見るために職員が個室でつきっきりとなります。どうしてもその際は、生活している子への対応が手不足となり、普段通りの相手をする事ができません。子育て経験もあり、長期的に時間を見つけて、計画的に乳幼児の相手をしていただける方がみえると助かります。子どもに関しては守秘義務があり、健康チェックも必要で、子どもの入退所が激しくても、見てくれる大人も出入りが激しくても問題ですので、長期的にお願いできる方、ご協力をお願いします。

里山学院 乳児院 院長 鍵山雅夫



～後援会より～

学院の運営財源は、国や県からの措置費、寄附金、施設資金などでまかなっていますが、子ども達の教育活動や建物・設備品の維持管理などの財源確保に毎年苦慮しているのが現状です。学院近隣の方々やボランティアの方々の有志により「里山学院後援会」が平成21年3月に発足いたしました。子ども達に対する物心両面からの支援と学院のさらなる向上を目指し、努力していただいております。社会福祉法人里山学院では子ども達に物心両面での援助をして下さる方を募集しております。

《ご加入方法》
会費は、年額 1口個人2,000円、企業・団体5,000円
郵便振替口座にお振込みいただけますようお願い致します。
【寄付金振込先】郵便振替口座
《口座番号 00810-4-174289 口座名義 社会福祉法人 里山学院》

これまでの10年間で里山学院後援会より、冷蔵庫・AED・ブロック・公用車を寄贈して頂きました。



ありがとうございます。大切に使用させて頂いております。いつも後援会活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

里山学院

〒510-0307
三重県津市河芸町影重1162
TEL (059) 245-0116
FAX (059) 245-6020
E-mail: kawageyougo@satoyamagakuinn.or.jp

鈴鹿里山学院

〒513-0056
三重県鈴鹿市上箕田1丁目6-2
TEL (059) 381-6021
FAX (059) 381-6020
E-mail: suzukayougo@satoyamagakuinn.or.jp

乳児院

〒510-0307
三重県津市河芸町影重1162
TEL (059) 253-3780
E-mail: nadeshikobaby@etude.ocn.ne.jp

里山学院

児童福祉法の改正に伴い、新しい社会的養育ビジョンが出され、児童養護施設は視察にさらされています。施設の専門性が問われ、小規模化、地域化に伴う機能の多様化が指摘されています。里山学院も2つの児童養護施設と1つの乳児院を基盤に、今後必要とされる施設整備とともに市町との協働は欠かせないものがあり、より積極的な施設運営が必要であると感じています。そのためにも職員の意識向上がもっとも必要であると思います。

一方、永きに渡って培われて来た「後援会」活動に関しては、多くの方のご支援・ご好意により一層強固な絆で結ばれているものと思っています。今後は、現職もお手伝いをし後援会活動の拡大と後援会会員獲得に向けた活動展開が必要だと思います。

里山学院 院長 奥 昭徳

